

初期設定の手順と方法

☆ドローレングス調整

モジュールとストリング／ケーブルポストの位置調整によりメーカーの指定範囲内で調整をいたします。

ドローレングスはATA(旧AMO)規格に準じて計測します。

セットの状況によっては若干の誤差は生じますのでご了承ください。

☆ポンド調整

リムボルトを緩めることによって、ポンド数のマイナス調整をいたします。

(メーカー出荷の状態より強くすることはできません)

リムボルトを緩めるに従って同時にケーブルのテンションも減少してゆく結果、振動が大きくなりハンドルライザーやアクセサリパーツの劣化や緩み・破損を生じやすくなります。

また、カム・ホイールのドライブタイミングにも遅延が生じるためパフォーマンスは劣化してゆきます。

最新の平行リムでは、リムボルトの過剰な緩め作業は致命的ダメージ(リムのクラックや抜け)の原因となりますので特に注意が必要です。

この理由で当ショップでは、マイナス5#以上のポンド調整はお断りしています。

例えば、60#のセットでは55#が、50#では45#が許容される限界と考えるからです。

当ショップの推奨範囲はマイナス2-3ポンドです。

ティラーバランスはメーカー出荷時と同じに設定します。(通常は0ティラー)

最新のコンパウンドボウの中にはリムボルトの回転範囲を6-13回転までの許容範囲で作られているモデルも存在します。これは弓のメンテナンスのでボウプレスを使用する際のハンドルライザーやリムの破損を防止するために作られているのであって、ポンド数の調整幅拡大を意図しているものではありませんのでご注意ください。

☆レストの取り付け

特に指定がない限り、レストピン(アーム)とアローの接触点がピボットポイントの真上から1.5インチ後方の範囲になるようにセットします。

この位置は、ハンドルやレスト及びレストアームの形状によって判断させていただきます。

また、スプリングテンションはほぼ中間辺りでセットします。

フール(ドロップ)アウェイタイプのレストのタイミング調整は低ポンドではフルドローから1.5-2インチ、高ポンドでは1-1.5インチ戻したところまでレストアームがアップポジションを維持するようにセンサーコードを調整をして出荷いたします。

レストピンの高さは通常シャフトセンターとレスト取り付けネジの中心が一致する位置にいたしますがレストの形状に応じて若干上下させる場合もございます。

ご使用になるシャフトが判明している場合には、事前にお知らせください。特に、指定がない場合にはVictory VAPアローを標準としてセットいたします。



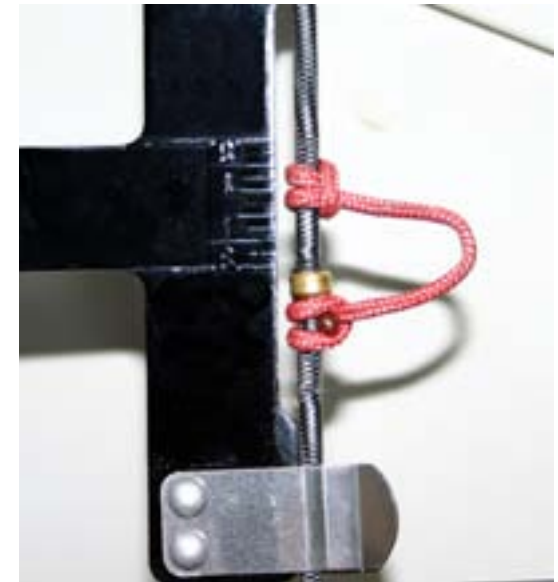
☆ノッキングポイント・タイドループの取り付け

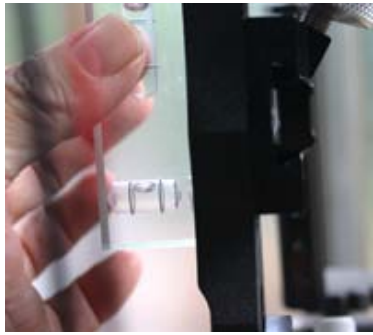
レストアームテンション調整型レストの場合、メタルノッキングポイントは下側のみに装着し、位置はレストピン(アーム)と水平といたします。

フールアウェイ(ドロップアウェイ)タイプのレストの場合には、1/8インチ上を標準といたします。

タイドループ(ロープは)BCY2mm径、5インチカットのものに、末端を熱溶解処理したものを取り付けます。若干長めにしておりますので、好みによって長さ調整を行ってください。

尚、ループのかけ方向はピープの回転と少なからず関係し影響もあります。ピープの調整の際に、最も安定したかけ方を選択してお渡します。





ライザーを垂直にします。



サイトバーの垂直調整



サイトバーに対してスコープを直角に調整して終了です。

☆サイトの取り付け

①専用ジグに弓をセットし、水準器(レベル)を利用して、ストリングを垂直にセットします。

一部のモデルでは、ストリングとライザーが平行ではない場合があります。その場合には、ライザーのサイトウィンドウ面を利用して垂直を取ります。

②次に、ストリングの垂直を維持した状態のままで、サイトのサイトバーの垂直調整を行います。

これで、ストリングとサイトバーは平行になっているはずです。

③最後に、スコープを取り付けたブロックをサイトバーに装着しサイトバーの垂直を維持したままで、スコープの水準器をセンターレベルに調整します。

これで、ストリングとサイトバーは平行に、スコープはそれらに対して直角に取り付けられたはずです。

☆ピープサイトの取付け・調整

ピープサイトは、特に指定が無ければ、ノッキングポイントからホールセンターまでの距離を5インチで取り付けいたします。

可能な限りフルドロ時にピープホールが正面を向く位置に調整しますが、ここでセットした角度は実射してゆくと変化します。

この症状は、ストリングやケーブルが使用している間に若干の伸びを生じるために発生するものです。

初期セットでは完全なアラインメント調整はできません。あらかじめご了承ください。



ピープとノッキングポイント間の距離を広げるほどサイトピンの位置は高くなります。しかし、引き手の高さも同時に変化するため筋肉の使い方が変わってきます。

その辺も考慮してピープ位置の決定をする必要があります。

実射での調整が必要な場合を考慮し、縛りつけはいたしませんのでご了承ください。

☆ドロイングマシンによるフルドロチェック

・センターショットの調整

センターショットは下記のモデル別センターショットライン上にアローの中心ライン、サイトピンまたはサイトドットが一直線上に並ぶようにサイトピンの出し入れ、レストの左右移動でアラインメント調整を行います。

(注)以上の調整は初期位置の設定であって、実射におけるターゲットの真ん中へのヒットを保証するものではありません。

アーチャーの顔向けの個性、ケーブルガイドのテンションの度合い、アロースパインの適合性、リリースのスタイルなどの要素が複合し競合するためです。センターヒットのためには以後のチューニングが大切になります。
初期設定では、ヨークによるホイールやカムのリーン調整は指定ドロレングスフルドロ状態で上カムが垂直とします。

・センターショットについて

センターショットのラインはメーカーの製造コンセプトによって異なります。

当ショップで取り扱っているモデルに関しては下記の通りです。

その他のメーカーの製品に関しては、各メーカーに直接お問い合わせ願います。



PSE

メーカーがサイトシェルフ上に刻んでいるライン (Centershot Alignment guide)をセンターショットといたします。



Genesis Pro

ピボットの通るラインをセンターショットといたします。

